

展開案（3 / 3 時目）＜小学校＞

- ◆本時のねらい：「強み」に着目した交流活動を通して、「強み」を生かしていこうとする意欲を高め、自分や友達の「強み」を見つけ、「強み」の生かし方を考えることができるようにする。
 - ◆本時のめあて：自分や友達の「強み」を生かしていこう。
 - ◆本時の展開（※）については、授業者がスライドに加筆したり授業者自身の言葉で思いを伝えたりして、スムーズな活動につなげたり、学習への理解を深めさせたりすることもできます）
- * ワークシートや振り返りシート等をまとめるもの（ファイル等）を準備します。

学習活動	ｽﾗｲﾄﾞ	指導上の留意点
(授業前)	1	<ul style="list-style-type: none"> ・交流活動ができる座席配置にしておく。 ・前時までのワークシートと振り返りシートをまとめたもの（ファイル等）を返却し、自分の「強み」や学習の気づきを思い出すことができるようにする。
1 前時までの活動を振り返る。(5分)	2~5	<p>※ これまでの活動をスムーズに3時目の活動につなげるために、【スライド4】と【スライド5】には、各学級の1、2時目の授業写真や児童の振り返りシートの記述を提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の授業後の取組を共感的に受け止め、価値付けることにより、「強み」を生かすことに対する意欲を高めることができるようにする。
2 本時のめあてを知る。(1分)	6	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてを板書して、確認したり振り返ったりすることができるようにする。 ・これまでに見付けた「強み」や新たに見付けた「強み」の生かし方を考えることを伝えることにより、活動の見通しをもつことができるようにする。
3 「お宝ウェビング」の交流活動(4人*)を行う。(19分)	7	
(1) 1、2時目の活動で見付けた自分の「強み」を書き、関連した「強み」を線で結ぶ。活動①	8 9	<ul style="list-style-type: none"> ・関係のある「強み」をつなげることにより、「強み」を整理できるようにする。 ・授業以外で見付けた「強み」を新たに書き加えてもよいことを伝えて見通しをもたせることにより、時間いっぱい活動できるようにする。
(2) 友達のワークシートに「強み」を書き加える。活動②	10	<ul style="list-style-type: none"> ・「強み」を書き加えるときに自分の名前を書くことにより、友達を思いやる気持ちや活動への意欲を高めることができるようにする。 ・交流活動がスムーズに進むように、活動時間を知らせながら時計回りにワークシートを回すように指示をする。 ・ワークシートを裏返して一斉に本人に渡すように指示することにより、期待感を高める。

		<ul style="list-style-type: none"> ・友達に「強み」を書き加えてもらったワークシートに目を通す時間を設けることにより、自分の「強み」を実感することができるようにする。 <p>※ 児童の活動の様子や教師が気付いたことなどを肯定的にフィードバックすることにより、温かい雰囲気づくりをしたり次の交流活動につなげたりする。</p>
<p>4 「これがあれば大丈夫！」の交流活動（4人*）を行う。（14分）</p> <p>(1) 今後、これがあれば大丈夫だと思える「強み」を2つ選び、選んだ理由を書く。活動①</p> <p>(2) 選んだ「強み」と選んだ理由を伝え合う。活動②</p>	<p>11・12</p> <p>13</p> <p>14</p> <p>15</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「強み」を2つ選ぶことにより、「強み」の優先順位を意識させ、自己理解を深めることができるようにする。 ・選んだ理由を考えさせることにより、「強み」の生かし方を具体的に考えたり、「強み」を生かしていこうとする意欲を高めたりすることができるようにする。 ・理由の書き方は、感情面と活用面の2種類を提示することにより、書きやすい方を参考にすることができるようにする。 ・伝え方の話型を示したり「話をきくときの約束」を確認したりすることにより、安心できる雰囲気の中で伝え合うことができるようにする。 ・選んだ「強み」と選んだ理由を伝え合うことにより、自分や友達の「強み」を更に生かしていこうとする意欲を高めることができるようにする。
<p>5 本時の活動を振り返る。（5分）</p> <p>(1) 振り返りシートに記述する。</p> <p>(2) 全体で気づきを伝え合う。</p>	<p>16</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてと活動を確認することにより、学習した内容を具体的に振り返ることができるようにする。 ・気付いたことや感じたことを全体で発表する場を設けることにより、自己理解や他者理解を深めることができるようにする。 ・児童の発言を板書して全体で共有することができるようにする。 <p>※ 授業全体を通じた児童の活動の様子や教師が気付いたことなどを肯定的にフィードバックしたり、学級や児童の実態に応じて学習内容を具体的に意味付けたりすることにより、学習の効果を高めることができるようにする。</p>
<p>6 3時間のまとめをする。（1分）</p>	<p>17</p>	<p>※ これからも自分や友達の「強み」を見つけて互いに伝え合い、「強み」を生かしていきたいという意欲につなげるために、授業者自身の言葉で思いや願いを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3時間の学習を通して友達のことを一生懸命に考えた自分と自分のことを一生懸命に考えてくれた友達に拍手をするなどして、互

いのことを思いやる気持ちを称え、温かい雰囲気ですべてを終る。

- ◆評価の視点：「強み」に着目した交流活動を通して、「強み」を生かしていこうとする意欲を高め、自分や友達の「強み」を見付け、「強み」の生かし方を考えることができたか。

◆板書計画

<p>話をきくときの 約束</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し手を見て ・関心をもって ・最後まで きく 	<p>めあて：自分や友達の「強み」を生かしていこう</p>		<p>【ふり返し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の発言 ・ ・ ・ 	
<p>「強み」って 何だろう？</p> <p>考え方、行動、からだ など 自分に あるもの 自分が もっているもの</p>	<p>お宝ウェビング 活動①</p> <p>自分の「強み」を書こう 関係のあるものはつなげよう</p> 	<p>これがあれば大丈夫 活動①</p> <p>これがあれば大丈夫！と思える「強み」を 2つ選んで、リュックサックに入れよう</p> <p>【選んだ「強み」】</p>  <p>【選んだ理由】</p>		
<p>「強み」のポイント</p> <p>プラスに思えること だけでなく マイナスに思えること もふくめて 「強み」と考える</p>	<p>お宝ウェビング 活動②</p> <p>友達の「強み」を書き加えよう 関係のあるものはつなげよう</p> 	<p>活動② 伝え合い</p>		
<p>いつでも確認できるように、「話をきくときの約束」「『強み』の考え方」「『強み』のポイント」を掲示しておきます。</p>	<p>活動の流れが一目で分かるように、活動名とワークシートを拡大したものを提示します。</p>		<p>振り返りを全体で共有するために、児童の発言を板書（・）します。</p>	

◆授業前の取り扱い

- * 交流活動におけるグループの人数は4人編成が望ましいが、4人にならない場合は、5人グループを編成する。その場合、ワークシートを回して行う活動では、指示通りに活動を進めて、3人回したところで終了する。
- ・グループを意図的に構成し、児童の心理的な負担を減らすように配慮する。
- ・ワークシートや振り返りシートに、教師が気付いたことや感じたことを書いて肯定的なフィードバックをする。
- ・児童が学習を振り返ることができるようにするため、ワークシートや振り返りシート、学級通信等をファイル等にまとめて、児童に配付する。
- ・(例) 授業前や導入において、構成的グループエンカウンターを行うことにより、親和的な雰囲気づくりが期待できる。

◆授業後の取り扱い

- ・児童が学習を振り返ったり、自分の「強み」を生かしたりすることができるようにするため、3時間分のワークシートや振り返りシート、学級通信等をファイルにまとめて、「ぼく・わたしの『強み』ファイル」として配付する。

◆授業後の取組例

- ・学級通信等で学習活動や児童の感想を紹介し、家庭でも言葉掛けをしていただくようにする。
- ・教師がワークシートに目を通した後に、教室に掲示する。

- ・教室に「強み」コーナーを設けて、見つけた友達の「強み」をカードに書いて貼らせ、学級全体で共有できるようにする。
- ・学年集会や学年掲示板で紹介する。
- ・行事と関連させる。